



2022年5月27日

各位

会社名 大井電気株式会社
代表者の役職名 取締役社長 石田 甲
(コード番号: 6822 東証スタンダード)
問い合わせ先 経営管理本部長 仁井 克己
045-433-1361

株主提案に対する当社取締役会の意見に関するお知らせ

当社は、当社株主である Uneath International Limited (以下、「提案株主」といいます。)より 2022年6月開催予定の当社第98期定時株主総会に関し株主提案を行う旨の2022年4月25日付の書面(以下、「提案書面」といいます。)を受領しておりましたところ、提案株主は、提案書面において、①「自己株式の取得の件」、②「株式分割の件」(以下、「株主提案②」といいます。)及び③「当社株式等の大規模買付行為に関する対応策(買収防衛策)の廃止の件」を提案しておりましたが、このうち①及び③を後に取り下げました。

これを受けて、当社は、本日開催の取締役会において、株主提案②に対する意見を協議し、これに反対することを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 提案株主及び株主提案②の内容の概要

(1) 株主名

Uneath International Limited

(2) 議題

株式分割の件

(3) 議案の要領及び提案の理由

議案の要領及び提案の理由は、別紙に記載のとおりです。なお、提案株主から提出された提案書面の該当箇所を原文のまま掲載したものであります。

2. 株主提案②に対する当社取締役会の意見

(1) 株主提案②「株式分割の件」について

当社取締役会は、本議案に反対いたします。

株式分割につきましては、提案株主から2021年10月4日付「要望書」においても同様のご要望をいただいております。また、かねてより流通株式の流動性の改善についてご指摘をいただいております。

当社取締役会においても議論を重ねてきたところでございますが、現時点の取締役会の判断としては、(i) 株式分割による流動性への影響の有無には実証的に確立した見解は存在せず、株式分割を実施したことにより確実に流動性が高まるとは言えないこと、(ii) 短期的な株価増減を招きいたずらにボラティリティーを向上させてしまうおそれのあること、(iii) 当社株式の株価水準は東京証券取引所が推

奨める投資単位 5 万円～50 万円の中位に位置し、投資単位として適切な水準にあり、最低購入価格を減少させることによる流動性向上が望まれにくいこと等から、当面は見送る方針としております。当社といたしましては、今後も IR 活動の積極的な取り組みなどを通じて、安定的・中長期的な流動性の向上を目指すこととしております。

したがって、当社取締役会としては、本議案に反対いたします。

以上

(別紙)

1. 提案する議題の内容

(2) 株式分割の件

当社普通株式について、以下のとおり株式分割を行う。

ア 分割割合 1株につき3株の割合とする

イ 分割の基準日本総会の日翌営業日から起算して、3週間後の日

ウ 分割の効力発生日 日本総会の日翌営業日から起算して、4週間後の日

2. 提案の理由

(2) 株式分割の件

弊社はこれまで当社の取締役に対して株式の流動性を向上してほしい旨を伝え続けてきましたが、当社株式の売買高は極めて低く、日毎では売買高がゼロの日も見受けられます。この状況を打開し、改善しようとしめないのは上場企業としていかなるものでしょうか。また、当社は2022年1月、取締役会から弊社が招集請求した臨時株主総会における株主提案について反対意見を表明されましたが、その中で現在の流動性に関して、「現在の株価水準は東京証券取引所が推奨する投資単位である5万円～50万円の中位に位置するため問題ない」と反論しており、現在の流動性を正当化されています。

しかしながら、弊社としては取締役会の主張が決してそれを正当化するものではないと考えております。推奨される投資単位内であれば、目の前の流動性の低さは見過ごして良いというお考えなのではないでしょうか。重要なのは「流動性」や「売買高」であり、「投資単位」ではないと考えております。仮に東京証券取引所が推奨する値幅に位置していても売買がされていなければ問題ないとは言えないのではないのでしょうか。そして、このような株式の流動性の低さは、投資家の当社に対する投資意欲を失わせ、当社のバリュエーションを低下させる一要因となっています。実際に弊社以外の投資家からも流通株式の流動性向上については要望を受けていると先日の臨時株主総会で伺っております。なぜ「流通株式の流動性の改善」にも未だ着手される気配もなく、企業価値向上に対する意欲が垣間見えない状況が続くのか疑問が残るため、この度、株主提案という形で上程させていただきます。